

さかいっこ かけはし通信

No.5 2025.9

堺市幼児教育センター



7月・8月に、架け橋連携グループによる合同研修が、各学校園において様々な形で実施されました。

講演



高い衝立を立てると、
刺激が減って
落ち着くかも。

視覚支援は幼児期と小学
校と共通して大切だね！

幼保小共通の課題をテーマに講演を行いました。
「視覚支援」には、見本、ルール、時間、活動
内容等をわかりやすく示すものと、前面掲示の
簡素化など刺激を減らすものがあるというお話
がありました。

グループ ワーク



もっとこどもが夢中になっ
て遊ぶ保育をしたい。

小学校でも体験を大切に
授業をしたいな。

中学校の先生方も参加し、校区全体のめざす
こども像をもとに、「各時期のめざす姿」と
「育成するための取組」を検討しています。

スタートカリキュラム の振り返り



授業時間をこどもの様子に
合わせ、15分ごとに区切ると
集中力が高まったよ。

話を聞く習慣がついていて、
こどもの育ちを感じた。

具体的なこどもの姿を出し
合うことが、カリキュラム
改善につながるね！

スタートカリキュラムをもとに、入学当初のこども
の様子を具体的にあげ、園や学校の取組を紹介し
合っています。

どの子も自由に
発言できる
雰囲気よかった。

こどもの「言いたい」
という意欲が
高まっているな。

保育参観 意見交流

5歳児のこれまでの取組の説明を聞き、保育を
参観をした後、「こどもの学び 見取りシート」を
もとに感じたことを意見交流しています。

講演会で熱心に話を聞いたり、意見交流やグループワークで活発に話し合ったりする先生方
の姿がありました。このような姿がこどもたちの「学びや育ち」の接続につながります。

「研修をやってみたいけど、どんな内容がいいのかな？」「どのように進めたらいいのかな？」

ご相談があれば、教育センター 幼児教育グループに気軽にお声がけください！
架け橋コーディネーターが学校園に伺います。 [TEL:072-270-8120](tel:072-270-8120)

